

Do small things in a great way



月刊

ZENIYA & LIFE

— 最高の普通を —

ご自由にお取りください

2023
May
vol.35

5

ウチの子も
ヨソの子も
ない
上本町



いつも
ありがとう





ゼニヤの
キホン

Principle of
ZENIYA

ちょっとしたことを、ちゃんとやる。
そうとしか言いようのない基本を
大切にしたいと思います。



スモールイズビューティフル

ソラソウでの展示販売会の時に
出店くださった手芸作家の加藤友香
さんと話していて響いたのは、「小
さいからカワイイのに：」という言
葉でした。彼女のつくるポーチを見
た方から「もう少し大きいサイズは
ないの?」「〇〇が入らない」と言
われることがよくあるそうです。そ
の場にいた画家の香西生孔さんも
「そうそう。私もカバンにマチがな
いと、あまり入らない」と言われ
る」と話に入ってきました。香西さ
んは、持って歩けるアートとして
カバン型の作品をつくっています。
この会話のポイントは実用性の評
価です。銭屋商店では「要るモノよ
り欲しいモノを」と謳っています。
ソラソウは用途を求める設計者
と決別することで生まれた「目的ア
ト付け空間」です。実用性一辺倒の
モノ選びから少し離れてココロ踊る
からです。小さいからカワイイ
という感性を信じてモノづくりをす
る作家の感性を支持し、売れそうな
モノづくりとは違うその感性を信
じて行動する小さい勇気を愛おし



く思います。

多様化、複雑化した 社会課題の解決に向けて

中小企業というどんなイメージ
をもたれるでしょうか? 中小企業の
定義は法律上、業種と資本金又は出
資総額、常時雇用従業員数で決まっ
ていて銭屋本舗は中小企業です。
いったい大、中小の分類にどんな意
味があるのでしょうか? 経営上は確か
に意味もあるのですが、一般的には
ドウデモイイことだと思えます。
むしろ言葉のイメージによる弊害の
方が大きいです。スポーツの世界で
期待される新人が、たまたま体が小

さかったりすると「小さな大型新
人!」となります。大きいことが
良いという思い込みがあるからで
しょう。

日本は世界でも中小企業の多い
国です。その日本で大阪は中小企業
の多い都市です。私は、中小企業は
大企業にはできない事をやる企業だ
と思っています。大きなことはでき
ませんが細やかに迅速に動けること
は素晴らしい特徴です。

SDGs が叫ばれますが、そもそ
もは規模の拡大を目指したことに
よって生み出された社会課題がたく
さんあります。もちろん解決に取り
組むのですが、社会課題がここまで
多様化、複雑化した昨今、1000人
規模の中小企業100社が1000種
の課題解決に向けて取り組むこと
は、1万人規模の大企業1社の取り
組みと同等以上に現実的であり価値
があると思えます。

中小企業の多い大阪は、また日本
はその価値を見直し発信すべきだと
思っています。小さいことが美しく
輝く社会であれば良いと思います。

(文・正木)



ゼニヤの
ホンキ

Earnest of
ZENIYA



本気だからこそ伝わる。
伝えたいから本気になる。
どちらも大切にしてお届けします。



村雲さんにプロデュースいただいた銭屋本舗本館オリジナルインク『藏藏(カンカン)』銭屋商店で販売中。



専有より共有 分かち合える豊かさ

「#専有より共有 分かち合える豊かさ」は銭屋本舗本館の価値観の一つです。専有することが豊かだという思い込みに縛られたくない、という想いがあります。例えば、銭屋本舗本館には古いレコードプレーヤーや真空管アンプ、大型のスピーカーがありますが、中古店で状態の良いものを見つけると、前の所有者がどれほどそれを大切にしてきたのか、そこに込められた思いのようなものを感じます。だからこそ、今こうしてこの状態でここにあるのだと、会った事もない前の所有者に対する感謝の気持ちすら湧いてきます。

3月にJetsetter (株) と共催した『On The DESK vol.5』で『ANTOU (アントウ)』というボールペンと再会し、この価値観と通ずるものを感じたため、皆さんに共有したいと思います。

ANTOUとは？

ANTOUは台湾の中西部、彰化^{ジャヤホウ}をベースに、経験豊富な技術力と高い評価を得ているモノづくりのプロ、ダイキャス・メタルと、ロンドンを拠点に欧州で活躍した若きアーティストレクター、イエン氏との協業で生み出されるステーションナリーとオフィスアクセサリーのライフスタイル・ブランドです。

メーカーに関係なく「様々なボールペン芯を使える」という日本にはない発想と、ロンドンでデザインを勉強した台湾人のイエン氏の感性が非常に面白く「日本への展開に一緒に取り組もう！」とJetsetter (株) の村雲さんからの声掛けで、日本に上陸することが決定しました。

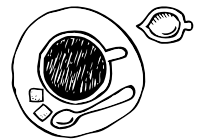
強く共感したモノづくりの考え方

強く共感するのは、現存するボールペン芯はメーカーを問わず、規格さえあれば使えるところ。日本のメーカーでは残念ながら想像し難いです。自社ブランドのことだけを考えた開発であれば容易な部分も、ANTOUはある程度のメーカーのリフィルが対応できるように考えたわけですから、開発の手間暇もより必要だったと思います。しかし、自社の手間暇よりも文房具を愛する作り手だからこそ、使い手のことを想像し、モノづくりに力を注いだのでしよう。ANTOUの思想を村雲さんが共感・理解し、銭屋本舗本館であれば共感の輪が広がるだろうと紹介いただけたことも嬉しいことです。共感できる人と共通言語で語り合うことで様々な発見が生まれます。そんな風に語り合える場・集える場を創りたいと思います。(文・中島)



カイザーグロフ ¥400(税込)
 マドレーヌ ¥200(税込)
 フロランタン ¥350(税込)

銭屋カフェー
 カフェタイム



ちょっとした時間、
 ちゃんとした美味しさを

ノスタルジックで 可愛らしい焼き菓子

銭屋カフェーのスイーツは、派手さはあまりないかもしれませんが「素朴さ」「小さいころにお母さんがつくってくれた」、そんな懐かしい味わいをお届けしています。

今回は、その中でも皆様におすすめしたい、コーヒーマロはもちろん紅茶とも相性の良い定番の焼き菓子カイザーグロフ、マドレーヌ、フロランタンをご紹介します。

カイザーグロフは刻んだチョコレットとクルミがゴロゴロと贅沢に入った、リッチなバターケーキ。カイザーとはドイツ語で「皇帝」のこと。マリリー・アントワネットがオーストリアから嫁入りの際に持ち込んだという説もあり、村の結婚式や洗礼式といったハレの日に食べていました。

可愛らしいシェル型で焼き上げたマドレーヌは、ほんのりレモンが香る、軽くさわやかな味わい。マドレーヌの最も特徴的な点は、

ホタテの貝殻に見立てた焼き型を使って焼き上げられていること。その昔、は



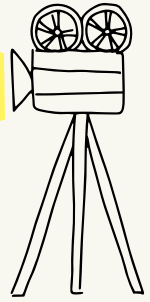
るばる聖地へ崇拜に向かう人はホタテ貝の貝殻をお守り代わりに持つて行っていたそうです。ホタテ貝には「再生」「豊穰」という意味があるそうで、幸運を運ぶ焼き菓子ということになります。

フロランタンの名前は「フィレンツェのお菓子」から由来しています。びっしりと敷き詰められたキャラメリゼしたアーモンドは、コーヒーマロに合うようちよっぴり苦めに仕上げました。小気味良いサブレのサクサクとした食感もアクセントになっていて、口に運ぶ手が止まりません。

幸せなひとときのお供になれるよう、日々スタッフがお心を込めて丁寧に手作りしております。ぜひご賞味くださいませ。(文・伊藤)

ZENIYA
 CAFE

銭屋シネマ



～ちょっと考えてみたいこと～

- 各回チケット代
1,800円 (学生) 1,000円
※1ドリンク&おつまみ付き
- お問い合わせ先 (事前予約優先)
銭屋カフェー 06-6770-5770

ようこそ銭屋シネマへ。ここは映画館ではない空間。
シネマコンプレックスでは流さない
“ちょっと特別な映画”を、
コーヒー片手にゆっくりお楽しみください。

作品情報・上映についての最新情報は
銭屋カフェーWebサイトをご覧ください。



#受け継ぎたいもの

5月6月の銭屋本舗本館のテーマは
#受け継ぎたいものです。「自然」の心に
寄り添い、森の中で過ごしたり、山に登つ
たりすると心が浄化されますね。先人た
ちから受け継いできた美しい地球を守る
ために私たちに何ができるでしょうか。

5月の銭屋シネマは「ごみ問題」を
通して豊かな未来づくりに挑戦している現
代芸術家ヴィック・ムニースと建築家
ビャルケ・インゲルスの取り組みを描い
た作品を上映いたします。流れていく日
常の中でも少し立ち止まって#受け継
ぎたいものに想いを馳せませんか。

(文・伊藤)

ゴミ処理場が観光名所に!

コペンハーゲンに山を



銭屋シネマ
5/21 [日]
18:00-

コペンハーゲンに山を

ここはコペンハーゲンに出現した新たな観光名所。ゴミ処理発電所でありながらスキー場を併設する世界初で世界最大規模の建造物! スター建築家ビャルケ・インゲルスがクレイジーな発想でコンペを勝ち抜く。

原題: Making a Mountain / 監督: ライケ・セリン・フォクダール、キャスパー・アストラップ・シュローダー / 製作: グッドカンパニーピクチャーズ / 配給: ユナイテッドビープル / 製作国: デンマーク / 公開: 2020年 / 時間: 51分

デ

ンマークの老朽化した巨大ゴミ処理施設が観光名所へと生まれ変わるまでを追ったドキュメンタリー。

2011年、デンマークの首都コペンハーゲンにあるゴミ処理施設建て替えのコンペ結果発表会が行われました。満場一致で選ばれたのは、同国のスター建築家ビャルケ・インゲルス率いるBIG建築事務所。彼らのアイデアは、ゴミ焼却発電所の屋根に人工の山を作りスキー場を設置し、街の新たなランドマークにするという奇想天外なものでした。難題を乗り越え2019年コペンハーゲンに「コペンヒル」が誕生。山を上がるとスキーやハイキングを楽しめますが、その下ではゴミ焼却炉が稼働中。夢のような施設に生まれ変わりました。

アートで世界を変える

ヴィック・ムニース / ごみアートの奇跡

有

名な現代芸術家ヴィック・ムニースはブラジルの貧しい家庭出身。若い頃に喧嘩の仲裁に入った際に脚を銃で撃たれ、その賠償金で渡米しアーティストになりました。砂糖やチョコレートシロップなど身近にある素材を生かして大胆な芸術作品を創作し、「変容(トランスフォーメーション)」にこだわって活動しています。

3年かけて撮影された本作は、ヴィック・ムニースが活動拠点ニューヨークのブロンクスから故郷ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ郊外にある世界最大のごみ処理場「ジャウジン・グラマーシヨ」へと旅し、リサイクル可能な素材を拾い集める「カタドール」と呼ばれる人々とともに、ごみアートを作る軌跡を追ったドキュメンタリーです。

銭屋シネマ
5/28 [日]
18:00-

ヴィック・ムニース / ごみアートの奇跡

現代芸術家ヴィック・ムニースが故郷ブラジルに戻り、世界最大のごみ処理場で働く若者たちの人生をアートで変えていく感動のドキュメンタリー。

原題: WASTELAND / 監督: ルーシー・ウォーカー / 共同監督: ジョアン・ジャルディン、カレン・ハーレイド / 製作: (製作総指揮) ペドロ・コス / 配給: ユナイテッドビープル / 製作国: イギリス・ブラジル / 公開: 2011年 / 時間: 98分



新たな扉が開いた瞬間



「人生で初めての落語体験でした。今日のようにカフェでの開催だから気軽に行ってみようと思ったのかもしれませんが、何となくハードルが高いから今まで触れる機会がな

かった世界が、今日は体験できて良かったです」。

お客様からいただいた銭屋ラリー亭の感想です。

今年のはじめ、「カフェで落語会をしませんか？」と桂吉坊さんから言われた時には、自分たちが縛られていた考え方を崩され、ハッとすると同時にワクワクしました。（銭屋ラリー亭開催の経緯などについては3月号をご覧ください）そして、前述のようなご感想をいただけると、一層やりがいを感じます。

私たちが行っている銭屋シネマや銭屋ラリー亭。場所はその用途のために用意した特別な空間ではありません。寄せるつもりもございません。と言えば語弊があるかもしれませんが、頑張っても近づけないので

す。だってカフェですから。であれば、カフェだからこそできるサービスマン・空間の作り手・企画の仕方を考えたいと思っています。

今回は、プログラムの約半分は飲食しながら落語を堪能できる、そんな時間を作りました。おかわりもOK。気軽にスタッフにお声掛けください、というスタイルでした。吉坊さんの軽快な枕を聞いていますと、お酒がすすむ気持ちもわかります。想像するだけで笑いがこみあげてくるエピソードトーク。普段、寄席に行く人が「いつもの環境」と異なる場所で聴くことへの慣れの時間をつくってくれていたのです。

落語家さんだけを見つめて、囁きに集中するのも良いですが、原点は神社の境内など、野外も活動の場所だった上方落語。様々な環境音が聞こえてくる中、それでも目の前の人を惹きこむ魅力が桂吉坊さんにはあります。銭屋ラリー亭の次回会場は：銭屋ベースソラソウを予定しております。夏の終わりの頃、またお会いしましょう。

（文・中島）

Information

銭屋寄席 - 上本町南光亭 -

日時：6月10日（土）開演 14:00（開場：13:30）

出演者：桂 南光・桂 そうば・桂 天吾

会場：うえほんまち銭屋ホール

（大阪市天王寺区石ヶ辻町14-2 6階）



詳しくは
こちら



銭屋寄席



ZENIYA

銭屋塾

いつもの暮らしをもっと豊かに、
そして丁寧に。

銭屋塾の講座は、
ちょっとしたことを
ちゃんとやってみる「大人の学び場」。
講師が込めた想い、
受講された方にもたらされた感動をご紹介します。



畑中伸洋先生 × 亀田智実先生
コラボイベント

2023年5月21日(日) 11:00~13:00

【お受験に向けての身体、心作り】

～食で集中力を高め、姿勢で面接第一印象UPをめざして！～

幼稚園のお受験から大学入学試まで、
幅広く活用いただけるポイントを凝縮した2時間です。

銭屋塾で支持を集める2名の講師が、今回ジャンルを越えてコラボいたします。お受験の根底を支える大事な要素「集中力」を取り上げ、姿勢と食事の面から集中力を高める方法を伝授！受けたその日から周りとの差がつく。受験を控える全てのご家族必見のイベントです。
(文・山内)

◎ 銭屋塾

集中力を高めて お受験を制する！

講師のことば

Teacher Message



食事の効果を 最大限お受験に 生かす

発酵講座・畑中伸洋先生

毎日の食事でメンタル(精神)やフィジカル(身体)、脳さえも変わっていきます。特に成長期の食事は大切で、大人になってからの健康にも影響します。そのため、何をどのように食べるのかをしっかりと考えて食事を摂ることが重要です。
● 脳が働くために必要な栄養
● 毎日やる気を起こさせる栄養
● 目標に向かってポジティブに取り組むために必要な栄養
● 夜ぐっすり眠るための栄養など
また栄養だけでなく、食事の方法によつて姿勢も良くなり体幹が鍛えられます。このようなお受験に向けて今日から取り入れていただきたい食事の話、ランチを通して分かりやすくお伝えいたします！

一生の財産を 身につける

エクササイズ&ウォーキング講座…
亀田智実先生

近年、学校教育で重要視されていない姿勢。生活習慣が様変わりし、ご自身やお子さんの姿勢が悪くなっていることを感じている方も多いのでは。

日々過ごす姿勢を変えることで、免疫力UP！集中力UP！そして好印象になります。私自身、姿勢は良いと思っていました。私自身、姿勢は良いと思っていました。実はそれは誤った認識で身体にとっても負担を掛けていました。姿勢を整えることで、心も身体も楽になり、とても楽しく過ごすことができます。習慣になるまでは辛いです。身に付くと財産になります。ひとりでも多くの方に知っていただきたいと思いついて活動しています。



AFTER

BEFORE



エクササイズ&ウォーキング講座

亀田 智実先生

ウォーキングアドバイザー、自力整体ナビゲーター。多くの企業に「一生歩ける身体づくり・心も身体も健康になる」をテーマに、正しい姿勢、日々の暮らし方、ケアの仕方伝えるセミナーを実施。



発酵講座

畑中 伸洋先生

発酵食育伝道師、五つ星お米マイスターとしてお米、発酵、和食を中心とした色々な講座開催や食育活動を実施。米穀、雑穀、自然食品、発酵食品、調味料などを販売する傍ら発酵食のカフェを運営。

5/19(金)

10:30-13:00

Culture & Life

カフェミナージュ®講座

講師／北林貴子

参加費／8,000円 (お持ち帰り袋付き)

毎年何にしようかとお悩みの方も「父の日ギフト」。今年は既製品にはないオリジナルワンギフトはいかがですか。ベ



ルギー製チョコレート約50個入りのプラスチックボトルの側面にお好みの生地を使ったデコレーションを施します。チョコレート好きな方へのギフトやラッピングボトルとしてもお勧めです。スマホクリップのみの作成(5,600円)も可能です。

5/20(土)

10:00-15:00

Culture & Life

簡易金継ぎ教室

講師／黒須ゆうか

参加費／9,850円

日常の器にどんな思い出がありますか？大切な器でも割れたり欠けてしまうこともあります。それを繕うことができ



たら...どんなにうれしく、心豊かになることでしょうか。割れや欠けが起きた時の対処法として【金継ぎ】があります。それを知り、さらに自分で繕うことができれば器のある生活への意識が少し変化するかもしれません。大切な器を持ってお越しください。繕う方法を学びましょう。

5/24(水)

13:00-14:30

Culture & Life

ふらっとアート巡り

講師／琴見ゆり

参加費／4,000円 (芦屋Uf-fuの紅茶付き)

今回取り上げるのは『佐伯祐三』。30歳で生涯を終えた夭折の画家。生涯を通して街並みを描き続けた彼の作品に他にはない惹かれるものを感じる方もいる



のでは？彼の生涯をちらっと覗いてみませんか。

5/11(木)・5/18(木)

Exercise

5/25(木)

13:30-14:30

ゆったりヨガ

講師／Se2ko

参加費／2,200円

(体験レッスン1人初回1回のみ1,100円)

週に1回、身体をほぐす習慣を！無理なくできるポーズやご自宅でもできるものなどもレッスンで学ぶことができます。自分自身で身体を整えることができるようになりますか。初心者も経験者もお気軽にご参加ください。



5/11(木)・5/25(木)

Exercise

6/8(木)・6/29(木)

10:30-11:40

コアポスチャートレーニング

講師／MARI

参加費／3,850円 (コース2回6,600円、3回9,300円、4回11,000円)

運動初心者の方、大歓迎！骨から変えて『気づけば美Body』を目指しませんか。

レッスンメニューはHPをご覧ください。



5/12(金)

11:00-13:00

Culture & Life

5/13(土)

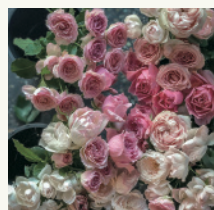
第一部10:00-12:00/第二部13:30-15:30

花との暮らしを慈しむ "hanakurasu"

講師／mika

参加費／11,000円 (花材費、お茶菓子代含む)

花達も一段と輝きを増す5月。今春のレッスンとして一番リクエストの多かった“ROSE”をテーマに、薔薇のお菓子を作り



テーブルを彩るワークショップを開催いたします。“ROSE”の開催は4年ぶり。皆様のご参加を心からお待ちしております。



ZENIYA

銭屋塾

2023.5/9～6/15

レッスン スケジュール



銭屋塾では、料理・文化・ものづくり・健康などに関する様々な講座を開催しております。集い、学び、体験することの素晴らしさを再発見してみたいいかがでしょうか。開催についての最新情報は銭屋塾Webサイトでご案内しております。**お申込みの詳細は、10ページ**をご覧ください。

5/9(火)

10:30-13:30

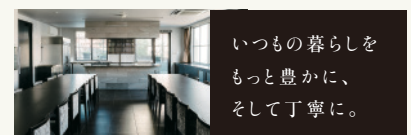
Culture & Life

刺繍で彩る暮らし

講師／古田マイ

参加費／5,000円 (芦屋Uf-fu紅茶付き)

5月は初夏らしく白一色で爽やかな刺繍、スズランがテーマです。刺繍好きなら一度は憧れるホワイトワークを楽しみましょう。シックな雰囲気の黒のご用意もございます。ゆっくりと手仕事の時間をもちませんか？



いつもの暮らしをもっと豊かに、そして丁寧に。

6/4(日)

11:00-13:30

鳥取県×野菜ソムリエ野口知恵先生 コラボ特別イベント

講師/野口知恵

参加費/5,800円(試食、らっきょうの甘酢漬けのお持ち帰りあり)

「季節の手仕事」鳥取砂丘らっきょうの甘酢漬け教室。夏を迎えるこの季節、暑さに負けない体づくりにも役立つらっきょうの甘酢漬け仕事は欠かせません。生産量1位の鳥取県の砂丘らっきょうで甘酢漬けをみなさまと一緒に作ります。砂丘らっきょうがどのように栽培されて

いるかどんな栄養が含まれているかなどらっきょうの色々もご紹介させていただきます。当日はJA全農とっとり大阪事務所、鳥取県関西本部の方も来てくださるので、らっきょうの魅力についてしっかりと学んで帰っていただけます。

Cooking

特別
イベント



6/6(火)

11:00-14:30

フランス料理講座

講師/谷田典子

参加費/10,000円(試食あり)

フランス料理は高級でハードルが高いと思われがちですが、フランス家庭料理ほど家庭的で無駄をなくしたお料理



はありません。こちらのレッスンでは楽しみながら本当のフランス家庭料理を学んでいただけます。今回はハーブ&夏野菜をふんだんに使った南フランスの家庭料理を作ります。

Cooking

5/28(日)

13:00-16:00

※完成した方からお帰りいただけます

植物の魅力に触れる 景色作り

講師/清水健太

参加費/6,500円

生活の中に植物を取り入れることで、いつもの日々がちょっと良いものに。今回は1鉢1本選び、鉢の上に景色を作って



いきます。作ったその日から景観を楽しめることが特徴!実を楽しむ木、花を楽しむ木、紅葉を楽しむ木、色んな種類をご用意してお待ちしております。

Culture & Life

6/15(木)

10:00-12:30

有田焼色絵付け講座

講師/伊賀恵理子

参加費/12,500円

※完成品の送料は別途ご負担いただけます。

今回は「七夕」をテーマとして笹の葉を軽やかに、短冊は色鮮やかに絵付けを楽しんでいただけます。実際に体験することを通して有田焼の



魅力に少しでも気軽に触れてみませんか。線描きされた絵皿をご用意いたしますので、どなたでも挑戦していただけます。

Culture & Life

6/3(土)

13:00-16:00

珈琲焙煎教室

～絶品アイスコーヒーの作り方～

講師/岡田美保子

参加費/6,600円(テキスト代、材料費込み)

コーヒーが生鮮食品だということは、あまり知られていません。ごはんは炊きたて、パンは焼きたてが一番美味



しいように焙煎したてのコーヒーは、栄養価の高い最高の健康食品なのです。本物のコーヒーは甘くてエグみがありません。自分で焙煎したものは格別です。珈琲が苦手な方も気軽にご参加ください。

Culture & Life

5/26(金)

11:00-14:00

発酵おうちごはん 事始め

～発酵甘酒キムチLesson～【応用編】～

講師/中川奈央

参加費/6,500円(試食・お持ち帰りあり)

応用編では作ったキムチのアレンジで甘辛くご飯のすすむ「イワシのキムチ煮」や、「甘酒キムチの素」とご家庭にあ



る調味料を和えるだけで作れる魚介キムチおかずを作ります。どれもご飯を食べる手が止まらなくなる!ご飯泥棒なおかずたちです。

Cooking

6/15(木)

10:00-12:30

有田焼色絵付け講座

講師/伊賀恵理子

参加費/12,500円

※完成品の送料は別途ご負担いただけます。

今回は「七夕」をテーマとして笹の葉を軽やかに、短冊は色鮮やかに絵付けを楽しんでいただけます。実際に体験することを通して有田焼の



魅力に少しでも気軽に触れてみませんか。線描きされた絵皿をご用意いたしますので、どなたでも挑戦していただけます。

Culture & Life

6/3(土)

13:00-16:00

珈琲焙煎教室

～絶品アイスコーヒーの作り方～

講師/岡田美保子

参加費/6,600円(テキスト代、材料費込み)

コーヒーが生鮮食品だということは、あまり知られていません。ごはんは炊きたて、パンは焼きたてが一番美味



しいように焙煎したてのコーヒーは、栄養価の高い最高の健康食品なのです。本物のコーヒーは甘くてエグみがありません。自分で焙煎したものは格別です。珈琲が苦手な方も気軽にご参加ください。

Culture & Life

5/27(土)

11:00-14:00

発酵おうちごはん 事始め

～発酵甘酒キムチLesson～【基礎編】～

講師/中川奈央

参加費/6,500円(試食・お持ち帰りあり)

オキアミの塩辛を使わない手軽に作れる甘酒キムチの素をご紹介します。白菜キムチ・長芽や大根やネギのキムチなどお野菜・果物キムチの作ります。



手作りならではのキムチの発酵エキスで発酵熟成したキムチチゲなど、キムチ料理のレシピも紹介します。

Cooking

3. お支払い

レッスンによりお支払い方法が異なりますのでご注意ください



◆カード決済の場合

必要事項を入力の上、クレジット決済にて処理ください。

(対応カード：VISA, MasterCard, AMEX)

※お持ちのカードが上記3種以外でお困りの場合は、トップページ一番下【contact】ボタンをクリックいただき、必要事項を入力の上ご送信ください。折り返しお支払い方法ご案内メールをお送りいたします。ただし、タイミングによってはキャンセル待ちなどになる場合がございますのでご了承ください。

◆銀行お振込の場合

必要事項を入力ください。お振込先ご案内メールをお送りいたします。期日までにお振込みください。

◆錢屋本舗プリペイドカードご利用の場合

お申込み講座名、日時、お名前、お客様住所、お電話番号、メールアドレス、プリペイドカード番号をご記入の上ご送信ください。受付が完了したら、メールにて返信させていただきます。

※必ず salon@zeniyahompo.com を受信できるように設定ください

4. レッスン当日

実施の会場をご確認の上、開始5分前に会場へお越しください。

※お着替えが必要なレッスン(エクササイズ系)の場合は、15分前に来場されることをお勧めいたします。



錢屋塾 06-6772-1245

LINE



錢屋本舗本館
LINE@



錢屋塾や錢屋カフェの最新情報やイベントのご案内を配信します。

zeniya_juku

fb.me/zeniyahompo.honkan



YouTube



ヒトの魅力をぎゅっと詰め込んだ公式YouTube。ライブ配信も要チェックです！

錢屋カフェ 06-6770-5770

zeniya_cafe fb.me/zeniyacafe



企画・制作・発行

株式会社錢屋本舗

06-6772-1241

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-6

<https://zeniyahompo.com/>



バックナンバーはこちら



原和人の俳句教室

俳句に親しみ、言葉を磨く



俳句の楽しみ —松山俳句甲子園を楽しむ—

毎年、俳句の聖地松山にて、全国の高校生を対象に「松山俳句甲子園」が開催されます。今年は第二十六回大会。全国の地方予選を勝ち抜いた三十二校が集って優勝を競います。

地方予選は、六月に全国各地で開催され、関西では、大阪・彦根・和歌山の三会場で開催されます。句の点数プラスディベートで競うので、作句だけではなく鑑賞も重要なポイントになります。

俳句をされている方は勿論、まだ未経験の方々も観戦すると俳句の楽しさを感じられると思います。タブレットでおなじみの夏井いつき先生も、松山では審査員長で登場します。

第80回 銭屋句会

2023年4月8日

兼題：緑の日、スイートピー、春惜しむ（他、自由題2句）

菜の花の半島少し重くして

林のり子

先生評 咲き誇った菜の花が、海に延びる半島を重くしていると言い切りました。半島の形を横から見ると、海の方へ段々下がっていきます。これが、菜の花のせいだと見立てたのです。

陽炎の中を象舎に行き当たる

西野 徹

先生評 陽炎は、春の日差し強い時期に遠く物がゆれて見えることです。陽炎の中を歩いていると、大きな象舎が目の前に忽然と現れるような驚きを感じたのです。取り合わせの妙ですね。

余命には触れず二人のみどりの日

谿口蹴月

先生評 余命宣告をされているご夫婦と理解しました。みどり溢れる公園などで、二人が静かにお互いを思いやって会話しています。美しく優しさ溢れる景ですね。

初産の逆子戻りて春満月

野菊

先生評 春満月の季語により、初産の子の無事の出産が想像できて気持ちの良い句になりました。「初産の逆子」でマイナスイメージですが、「戻りて春満月」でプラスのイメージに転換と上手な展開の仕方です。

講師の句

切なさのついに汽笛牛蛙

原和人

鑑賞 ある程度の年齢の方なら汽笛を聞くと、物寂しさや思い出を喚起されることなをど経験されたことでしょう。牛蛙は年を重ねた自分です。牛蛙の鳴き声も汽笛の音に似ているような気がします。

「季語のあれこれ」

講師 原和人

蛙の話

蛙は、春の季語か夏の季語か。

実は、蛙やお玉杓子（蝌蚪）は春

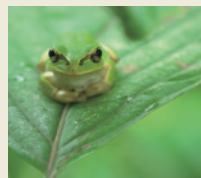
の季語。雨蛙（枝

蛙や牛蛙・河鹿（河

鹿蛙）は、夏の季

語なのです。やや

こしいですね。



整理しますと

■ 蝌蚪 傍題：蛙の子、お玉杓子

■ 晚春

■ 蛙 傍題：殿様蛙、赤蛙、土蛙、

遠蛙 三春

■ 雨蛙 傍題：枝蛙 三夏

■ 牛蛙 仲夏

■ 河鹿 傍題：河鹿蛙 三夏

* 鰪は淡水魚で秋の季語です。



俳句講座

毎月第二土曜日 13時

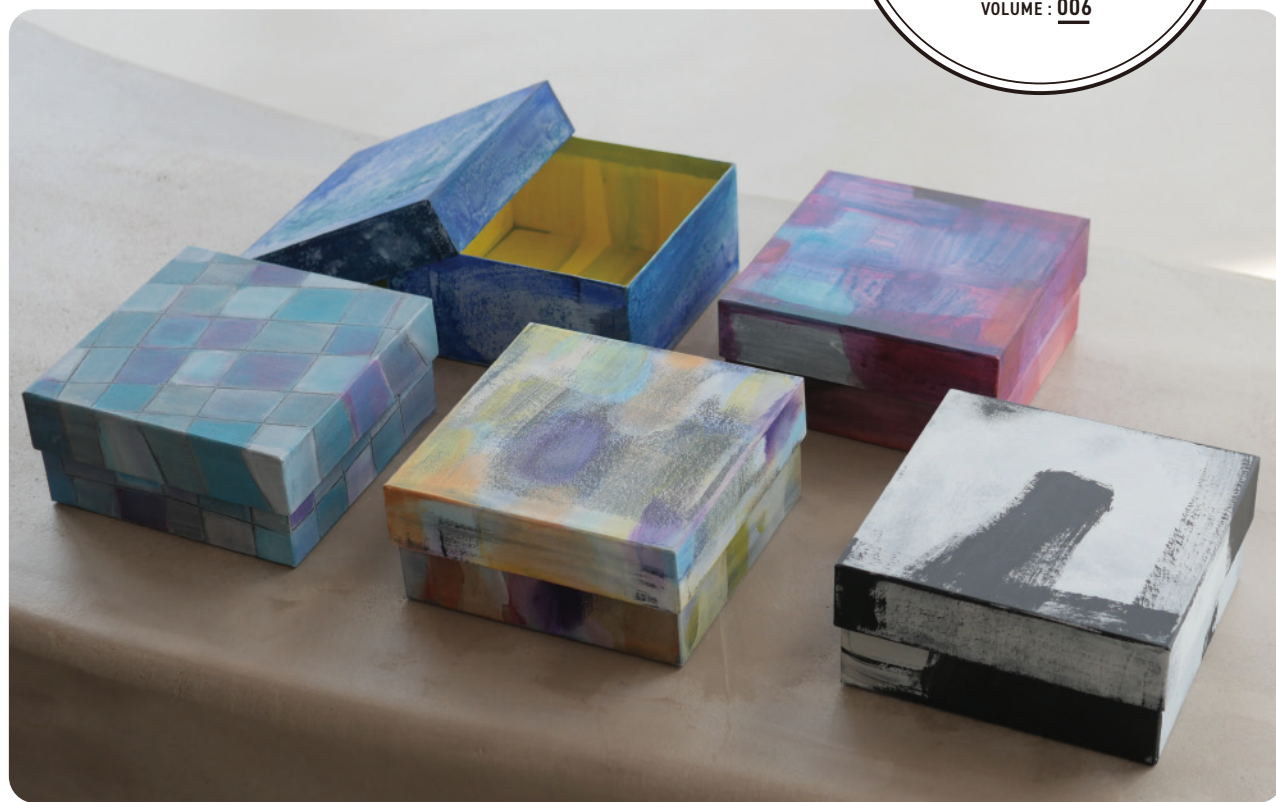
最も短い短詩型である17音の俳句を作ることを通じ、日本の文化にも触れていきましょう。俳句教室では、俳句の基本から勉強します。実作の方法は勿論、古今の名句の鑑賞・季語の使い方など、初心者も経験者も一緒に楽しめる講座です。



錢屋本舗本館が発信する価値観が、カタチになったモノを集めた商店です。ここではわたしたちが発信する価値観のもと選んだモノについて語ります。



錢屋商店



ZENIYA STORE

アートと暮らす

今回は島あゆみさんの「アート箱」をご紹介します。アート箱というと、あまり聞きなれないかもしれませんが、「小物入れ」です。

家の中には整理整頓したいものがたくさんあって、その分別をする上で必要になってくるのが箱や袋。近年では「収納上手」という言葉もよく目にしますが、皆さんはいかがでしょうか。「収納」とは中に入れて、しまっておくことですが、すべてをクローゼットや押し入れなど、扉の中に入れてしまうのは生活がしやすいとは思えません。そう思っているからなのか、私も箱やカゴを見ると、ついつい欲しくなってしまう家の中には至る所にそれらがあります。中はごちゃごちゃしていて見せられないけれど、外からはわからない。それってとてもありがたいです。

ただ、小物入れて選ぶことが難しい時もあります。見た目で好

みのものと出会えない、置きたい場所の高さが合わない、大きすぎ、小さすぎ



る、など。島さんのアート箱は、まず見た目が美しく、サイズもちょうどいい（私にとっては）と思いました。「要るモノより、欲しいモノを」と想像しながら買い物をする私にとっては、見た目は重要な要素のひとつ。それは空間と融和するかを考えるからです。島さんのアート箱は、現在柄は5種類。季節に合わせて変えていくのも楽しいかもしれません。外側の雰囲気からは想像できない内側のデザインも島さんならではの組み合わせです。蓋をして使うもよし、蓋を取り中のモノ・内側のデザインを見せて使うもよし。光があたる場所に置くと自然のゆらぎを感じます。

買い物の基準は人それぞれ。正解なんてありません。ただ、私たちは「要るモノより、欲しいモノを」お勧めします。暮らしの中に欲しいモノだけを集めませんか。

(文・中島)



ZENIYA'S ネイバーさん

心の距離のご近所さん

いまをたのしむ 米田 健太さん

今回は米田健太さんです。

米田さんは神戸に本店を構えるめがね舎ストライクに勤め、錢屋ギャラリーで毎月運営する錢屋めがね（運営・めがね舎ストライク）の担当として接客されています。錢屋めがねの指針としては、お客様に対して「ほんとう」のことを言うこと。米田さんとお客様との会話を聞いていると、錢屋本舗本館の価値観の一つ「#売り買いは対等」であることを感じます。それは、お客様の希望や要望を把握・理解し、自身の考えを踏まえながら会話を繰り返していきながら伝わるのです。

実際に買い物に行って「気持ちの良い接客」を思い出せますか？「気持ちの良い」とは、神様のような扱いをされたいわけではありません。対等でありプロとしての意見も伺いながら、自

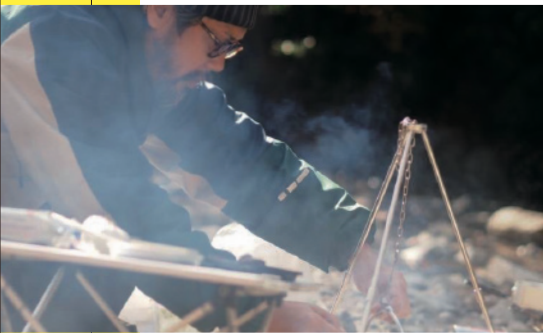
分のニーズ（それは購入がゴールではなく）を果たすことができた時に私は感じます。米田さんはめがねのことも好きですが、その前にヒトが好きなんです。だから錢屋めがねとしての運営をお任せしたいと思いました。

プライベートでは、デイキャンプが好きでよく出かけられているそう。「はじめの方はキャンプグッズも色々試しながら、自分に合うものを見つけ使っていくうちに、新しい道具に頼るというよりも行った先ですであるものを使って工夫することに楽しみを覚えました。山の上では、川の音・鳥の鳴き声・木々が揺れる音が最高のBGMです。突然の雨さえも、はじめは「最悪だ」と思っていました。最近では場所を変えて焚火で暖をとりながら雨をしのぎ、火の音・雨の音を



めがね舎
ストライク

共通の価値観で繋がる心の距離のご近所さん。



聞き、気持ちをプラスにもっていくこともできるようになりました。キャンプ飯も気分に合わせてその日に調達。鍋料理や鉄板料理をしますが、山の上で食べる食事は至福です。」

話を伺っていると、デイキャンプに行きはじめてからよりも、すべてがシンプルになっていくように感じました。それはきつと経験を重ねたからこそわかること。「こうしなければ」という思考ではなく、自身が心地よく過ごせるような柔軟な心が大切です。

久しぶりのZENIYA'S ネイバーさんのコーナーでしたが、価値観で繋がる人からは仕事の姿勢だけでなく、プライベートの場面でも魅力が多いことを実感しました。そういった人たちと、豊かさの本質を見直し生活に取り入れる提案をしていきたいと思えます。
(文・中島)

Profile

1984年兵庫県生まれ。百貨店、海外雑貨、眼鏡のセレクトショップなどで販売員として15年を越える経験を経て、めがね舎ストライクでは催事販売や営業に携わる。錢屋めがねでは『お客様に対して“ほんとう”のことを言う』を指針に日々精進している。

見つけ直した価値観と共に、人と暮らしをご紹介します。



雨あがりの虹

Vol. 29

監修：正木大貴【博士(医学)】

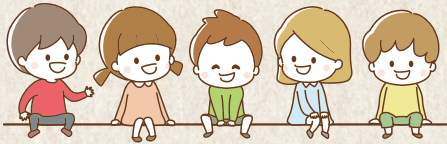
教育関連の制作を仕事とする銭屋本舗の子会社サン・ロワから、子供の成長を支えて晴れやかな日々を送れるような小さなアイデアや提案をお届けします。いろいろある毎日でも、雨上がりには虹が見えますように！



ココロ
コミュ

子どもの同調行動とその影響

vol. 02



「同調行動」について説明した4月号に続き、今月は同調行動が子どもに与える影響や親の対処法についてご紹介しましょう。

子どもは成長するにつれて、集団の中の自分を「少しづつ意識し始め、たとえ自分の気が向かなくても友達との遊びに付き合ったり、安心感を求めて常にグループで行動したりするようになります。これが「同調行動」です。周囲に同調する自分と本来の自分の両面を行き来しながら、「自分という人間は何が好きで、何が嫌いなのか」を知り、やがて「自分らしさ」を見つけていきます。



子どもが同調行動にストレスを感じていたら？

その「同調行動」に、子どもがストレスや反発心を持っているとしたら、親はどうしてあげればよいでしょうか。「嫌なら嫌と言ってみたら？」「やめたいと言ってみたら？」など助言をしなくなるどころですが、子どもには子どもの人間関係や付き合いがあります。子どもが同調行動をやめることを望まないのであれば、行動は子どもに任せ、不満や疑問を打ち明けられる、気持ちのより所に親がなってあげるとよいでしょう。

子どもが大きなストレスを感じている場合は、子どもの考えを全面的に肯定した上で、「周りに合わせないことは、悪いことではないよ」と教えてあげることが重要です。あるいは友達との関係や状況の中で、上手に自分の意見を言えるように一緒に考えてあげましょう。たとえば友達からのゲームの誘いを断りたいなら、「やりたくない」ではなく、「お母さんのお手伝いをしないといけないから帰るね」という言い方を教えてあげることも一つの解決策です。



同調行動が当たり前になって子どもには？

同調行動に疑問を持たず、周りに合わせすぎて自己主張しない子どもも、親には気になるかもしれません。周囲への同調が当たり前になると、「いつもみんなと同じでなくていいのでは？」といった疑問を持たなくなる恐れが出てきます。自分で考える力をつけておくのは成長期の子どものにとって大切なこと。いたずらに周囲と反対方向に進む必要はありませんが、親から子に「みんな一緒でないといけないわけではない」「いろんな意見や考え方があっていい」と伝えてあげると良いでしょう。

子どもの同調行動については、多くの親が「ある程度は周りと同調して仲良くやってほしい」「周囲に流されず、自分の意見をしっかりとってほしい」という相反する2つの気持ちを持っているのではないのでしょうか。だからこそ親は、そのどちらかに偏らないことに注意し、子どもが同調行動にストレスを感じている時にバランスを取れるように意識してあげてください。



#感性を信じて

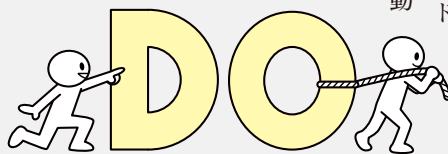
感動したら行動する

「正しいこと」をいう人は多いのに、世の中はそれほど正されません。正義の国でハリウッドが描く悪のヒーローは常に大人気です。正しさが魅力的であれば、きっと世界は美しく変わるでしょう。どうすれば正しいことを楽しく伝えられるかを考えてみる必要がある…いや、これがそもそもダメなのでは

う。考えるから、つまらないのかも知れません。

規範的な「正しさ」に縛られてワクワク、ドキドキといった心の動きを軽視するようになっていないでしょうか？

ワクワクのままに行動しようとして叱られ、心に従うことに億病になったのか



も知れません。そうだとしたらドキドキすることなんかできるはずありません。「損得勘定」「評判」など心を縛る要因は他にもあるでしょう。癖付いた思考と行動を変えるのは容易ではありませんが、感性を信じて行動したいと思います。決めて行動したことに責任を取るの自分ですし、世の中をつくっているのは自分達なのですから。

(文・正木)

イメージして巡る
大坂冬の陣③

錢屋本舗本館周辺が「大坂冬の陣」の舞台であったことを真田幸村が築いた出城「真田丸」を中心に二回に渡って紹介してきました。

当時の様子をイメージしながら巡ると色々な発見があり、どうしても誰かに話したくなりま

台地と「大坂冬の陣」の面白さをお話したところ、先生がふらりと上町台地散策に来てくれました。

上町台地を歩いていると地形の面白さに魅了されると、戦いでもあったことはもちろん、街づくりにも及ぼした地形の影響も面白とおっしゃっていました。たとえば、「背割下水」と呼ばれる日本最古の下水は上町台地ならではのものです、今の

下水にも引き継がれている様子を見て、興奮が隠し切れないといった感じでした。

大阪の街は油絵のように人々の営みが塗り重なっていき、多くの史跡が土の下に埋まっています。そのせいで、一見すると、歴史の面影は本当に薄っすらとしています。それでも、キャンバスである地形は変わらないので、イメージすれば壮大な歴史が見えてくるようです。

(文・池側)

みんなの「ちょっとしたことをちゃんとやる」を繋ぐ

リレー



錢屋カフェー
長谷 さくら

一日を整える

私の毎日のちょっとしたことをちゃんとやるは湯船に浸かることです。

仕事で疲れた日や、帰りが遅くなり時間がない日でも湯船に浸かるようにしています。その日にあった嫌なことやモヤモヤした気持ちを汗と一緒に流し、気持ちをすっきりさせることで次の日に持ち越さないように努めています。また、湯船に浸かることで、体温が上がり新陳代謝が高まります。身体のなかに溜まった老廃物や疲労物質が体外へと排出されやすくなる効果があるそうで、立ち仕事等で酷使した体を労わる時間としても活用しています。

毎日の入浴時間を充実させるために、夏は発汗性の高いバスソルトやレモングラスの香りの入浴剤を、冬は保湿性の高いバスミルクなどを入れています。新しい入浴剤やバスグッズを探すのも休日の楽しみの一つです。

最近に入浴剤の代わりに香水を湯船に数滴垂らして浸かることがマイブームです。



月刊

It's my place

UEMACHI & LIFE

ご自由にお取りください

2023
May
vol.35

5

- みんなのわがまち -

10年前と今とで、この町は何が良くなって何が悪くなったか。そして10年後は？暮らす、働く、楽しむ、学ぶ、育てる、育つ、老いを迎える…。この町を歩き交うさまざまな人が、それぞれの思いで描く10年後の寄せ書きです。

寄書

未来の上本町



童話作家
朝日カルチャーセンター童話通信講座講師
心斎橋大学童話・エッセイ講座講師

藤田 富美恵さん

歴史を受け継ぐ
空堀のまちの
昔と今

大阪城の空の堀があった後らしいので、空堀と呼ばれる高台の一带は、昔から水の質が良く、白蠟づくりに最適な場所だったようです。婚家も安政の頃から、蠟燭や鬢付け油の原料になる晒蠟製造（因みに屋号は銭屋）を生業にしており、近所には同業者が数軒ありま

した。

作業場は、空堀商店街を南北に横切る表通りのお祓い筋から、一筋西に入った四軒長屋の前の幅広い路地です。ここに掘った直系二メートル位の井戸で晒蠟の原料になるハゼの実を晒して、真っ白い蠟を作っていました。

最盛期の明治中頃には、井戸の前や路地奥に職人さん家族が住む長屋を四十数軒建てましたが、大正に入って蠟燭、日本髪や髻の鬢付け油の消費が減るにつれて、晒蠟の需要も次第に落ちていき廃業。その後は、職人さん達の住まいであった長屋を貸す借家業に転じました。

戦争の時も焼け残った長



屋は、昭和を経て平成に入っても何軒かは、建てた当時の状態を補強しながら借家業を続けていたのですが、やがて総てが空き家となりま

した。そこで六年前の二〇一七年、路地の中の四軒長屋のうちの三軒を知り合いの、重度身体障がい者「デーセンターいるか」代表・伊原誠一さんと工務店経営・

米口篤志さんの手助けで、柱だけ残したひと続きのレンタルスペース「大大阪芸術劇場」に改修、写真や美術の展覧会、関大OBの落語会も始めました。また上町筋近くに事務所のある、ち

らんどん通信社・林幸治郎さんの協力で「にわか」の再現もしています。

現在では知る人はほとんどありませんが、現代大阪の落語・漫才・喜劇等の源流ともなる「にわか」は、



江戸時代中期の享保年間（一七一六〜一七三六）に、大阪の夏祭りの折に始まったと伝わる路上での即興劇です。

高津神社の氏子である先祖も、夏祭りには御神灯を掲げた家の前に床几を出して「にわか」を楽しんでいたことと思います。こんな様子を目に浮かべながら、今は私も近所の人と、林さんたちの「にわか」を楽しんでいます。

誰のものでもない我が町。その未来はみんなの輪でつくりましょう。